

理科室からの挑戦状（ちょうせんじょう）その2

周りの自然（しぜん）の観察日記をつけよう

学校の休校が長くなり、家での時間がますます増えていると思います。三小の子供たちもどんな風にごすごしていますか？こんなに時間がたっぷりあるのは、夏休みがい、なかなかありませんね。夏休みといえば、自由研究です。何をしようかなやんだ経験（けいけん）がある子も多いと思います。

そんなときは、自分の好きな物の観察（かんさつ）日記をおすすめします。春は虫などの生き物が活発に動きはじめ、植物もたくさん芽（め）が出たり、花がさいたりします。鳥の鳴き声がたくさん聞こえます。天気の良い日は、雲の流れも見え、星や月も見えます。自分が好きな物を見つけ、その観察日記をつけてみませんか？学校がある時は、いそがしくて気付かなかった変化に、今だからこそ気付くことがきっとあると思います。

私たち人間の活動は、今は少し制限（せいげん）されていますが、身の回りの植物や動物は、いつも通り元気に活動しています。先生も学校では、校舎の裏（うら）の畑を耕したり、自宅では野鳥のためにえさ台を作って野鳥を観察したり、普段できないことをしています。その中で新しい発見がたくさんありました。それは後ほど紹介（しょうかい）します。みんなも、毎日は大変かもしれないので、1日おきとか、週に〇回など、自分なりにきまりを決めて、観察に取り組むといいと思います。観察を続ける「こつ」は、自分の家の庭やベランダ、すぐ近くの公園など、かんたんに観察できる場所を見つけることです。ぜひ取り組んでみてください。

HP上の「みのまわりの自然観察カード」をダウンロードして印刷してください。

○観察の仕方

見つけた生き物は、カードに絵をかいたり、写真をはったりして、気付いたことをかきます。絵をかくときは、できるだけ大きくかこう。写真をとる時はできるだけ近くでとろう。めずらしい発見、すてきな発見は理科室前にはりませう。理科室前をみんなの発見でいっぱいにして。観察日記を書くときのポイントは、前のカードとくらべることです。大きさや色がどうなったか、植物なら芽が出てきたとか、何cmくらい伸びたとか、動物なら、えさをどのくらい食べたとか、鳴き声がどうだったとか、前の観察との変化を書くといいでしょう。また動物なら、えさを食べているとき、ふんをしているとき、ねているときなど、その動物の生活場面を変えて、観察してもおもしろいですね。

○注意点

- ・観察する時は、まわりの安全に気をつけよう。心配な時は、家の人に手伝ってもらおう。
- ・虫などを捕まえて観察した後は、捕まえた場所に逃がしてあげよう。もし、続けて観察するために飼いたい時は、図鑑やインターネットなどで飼い方をよく調べてから、飼うようにしよう。
- ・観察したあとはかならず、手洗い、うがいをしましょう。

次の登校日や、学校が再開したら、担任の先生に提出してください。

観察(かんさつ)する時の3つのポイント

①五感(ごかん)を使う。

- ・見る ・さわる ・音を聞く
- ・においをかぐ ・味わう(できる場合)

②絵・図を大きくかく。

(大きくかくと、細かい所までかんさつできる)

③前にかんさつしたものや、

まわりのほかのものとくらべる。

ここからは、先生がこの春に見つけた新しい発見です。

その1

みんながお休みのとき、校舎の裏（うら）側にある駐車場（ちゅうしゃじょう）近くの畑をたがやしていました。そこで見つけた「ヤブガラシ」についてです。



新しい芽はこんな感じ



成長するとこうなるよ



ごぼう？じゃなく根です！

この植物は、ざっそうの中では、有名？な方だと思います。先生も昔から知っていますが、どこに新しい発見があったかという、3枚目の写真です。まず、「ヤブガラシ」という名前は、その名の通り、ヤブ（たくさんざっそうが生えている場所をこう呼びます）すら枯らしてしまうほど、この植物がたくさん広がって増えてしまうからです。別名はピンボウカズラです。これまたひどい別名ですね…。

でも、そのくらいこの植物のふえる力はすごいんです。先生も、知ってはいましたが、三小の畑をたがやしていて、その根の多さにびっくりしました。写真のようなごぼうみたいに太い根が、あちこちにあり、たくさんひっこぬきました。（残念ながら、見た目はごぼうみたくでも食べられません…。）でも、ぬいてもぬいてもぬき切れません。（この写真もひっこぬくの一生けんめいだったので、インターネットから借りた物です。）その根の広がり方に本当にびっくりです。それが今回の先生の新しい発見です。ヤブガラシの根の広がり方は、知っていましたが、先生の想像（そうぞう）よりずっとすごい物でした。植物は根が生きている限り、また新しい芽が出てきます。残念ながら、三小の畑の下には、まだ「ヤブガラシ」の根がたくさんうまっています。その証拠（しょうこ）に、数日したら、左の写真のような芽が、あちこちから出ていました。三小のみんなの畑が、真ん中の写真のようにならないよう、先生の戦いは始まったばかりです。

その2

先生の家で見かけた野鳥（やちょう）を紹介します。先生は、庭にえさ台を作って、そこに賞味期限（しょうみきげん）切れのせんべいやパンくずなどをよく置いています。それを食べに鳥がやってきます。その中から「キジバト」と「ヒヨドリ」を紹介します。



ヒヨドリ（インターネットより）

家の庭にやってきた2羽のキジバト 庭の木にあったヒヨドリ？の巣（と中）

この写真の2羽のキジバトは、毎日のように先生の家庭にやってきます。（家が留守の日は分かりませんが…）ヒヨドリも2羽よくやってきたのですが、そのヒヨドリたちが、なんと写真のように庭の木に巣をつくっているのを発見しました！2階からよく見えます。

でも、その後巣づくりをやめてしまった気がしています。最近ずっと変化がないんです。その原因は2羽のキジバト？かもと思っています。真相とこの続きはその3で…。